メシア初臨預言の学び　諸書の部

詩110：1～7　メルキゼデクの位の祭司、詩80：17　あなたの右の手の人
箴言30：4　神の御子の名

はじめに

1. メシアの活動計画における4つの区分
   (1) 初臨
   (2) 初臨と再臨との間における間隔の時期
   (3) 再臨
   (4) メシアの王国
2. 詩篇第110篇の構成とメシア計画の4つの区分
   (1) ヘブル語詩歌における詩節・・・「ストローフ」
   (2) 詩篇第110篇には、3つのストローフ
      ① 第1ストローフ　1～2節
      ② 第2ストローフ　3～4節
      ③ 第3ストローフ　5～7節
   (3) 詩篇第110篇の各ストローフとメシア計画

ストローフ	箇所	初臨	間隔の時期	再臨	王国
第1	1～2節	○	○		
第2	3節			○	
	4節	→	→	→	→
第3	5～7節			○	

詩110：1～7　メルキゼデクの位の祭司

1. 第1ストローフ　1～2節
   (1) この詩篇の作者は、ダビデ。このとき、ダビデはイスラエル全土の王。周辺諸国を屈服させて貢物を納めさせ、王国の支配権を強固にしていた。そのダビデが、「ヤハウェは、私の主に仰せられる」と言っている。
   (2) 「私の主」とは誰か。ヤハウェは父なる神、「私の主」はメシアである。
      ① ここで神の右の座に着くように招かれているのは、メシアである。
      ② 列王記第一2：19　→　王の右の座に着く者は王と同格
      ③ メシアは、神の右の座に着座するように招かれているので、神と同格の存在
   (3) メシアはその座にしばらくとどまる。それはいつまでか。
      ① 「わたし（ヤハウェ）があなた（メシア）の敵（複数形）をあなたの足台とするまで」
      ② メシアには敵がいる。その敵は、2節では、「エルサレム」の中にいると言われる。
      ③ メシアの初臨は、敵対的な状況下で起こることがわかる。

④　メシアは、初臨でイスラエルの民に拒絶され。そして、その敵（＝イスラエルの民）が服従するようになるまで、しばらく神の右の座に着座しているように招かれるというのが、この預言の内容である。

2.　第2ストローフ　3～4節

(1)　ここでは、メシアの敵（イスラエルの民）の心が変えられる様子が描かれている。

①　メシアが再臨するとき、メシアの民はみずから喜んで仕える民となる。

(2)　4節では、重要な宣言がなされる。メシアは永遠にメルキゼデクの位の祭司となる。

①　創世記14章　→　王でもあり祭司でもある存在

②　ヤコブの預言（創49：10）により、王はユダ族から。しかし、その後に与えられたモーセの律法により、祭司はレビ族の中のアロンの家系から。

③　4節の預言が成就するためには、モーセの律法とレビ的祭司制度が取り除かれる必要がある。

(3)　ヘブル7：11～18　→　イエスの十字架の死によって、モーセの律法は成就されて終了し、キリストの律法が代わりに立てられた。

①　キリストの律法の下で、レビ的祭司制度は廃止され、メルキゼデク的祭司制度が導入され、メシアが王と祭司を兼務することになった。

②　イエスが大祭司となられたのは、厳密に言うと、十字架の死の前である。ヘブル5：6～10　→　この世におられたときの祈りと願い、お受けになった多くの苦しみによって従順を学び、完全な者とされたとき。これは、十字架の前に成就した。完全な者、無傷の者だから、十字架で贖いのわざができる。→　ヨハネ16：33　「わたしはすでに世に勝った」　→　ヨハネ17章は、イエスが大祭司としてささげた最初の祈りである。

③　祭司になる条件＝「自分自身も弱さを身にまとっているので、無知な迷っている人々を思いやることができる」（ヘブル5：2）→　よって、祭司は人でなければならない。しかし「また、その弱さゆえに、民のためだけでなく、自分のためにも、罪のささげ物をしなければならない」（5：3）　→　メシアは「私たちの弱さに同情できない方ではありません。罪は犯されませんでしたが、すべての点で、私たちと同じように、試みに会われたのです（4：15）

3.　第3ストローフ　5～7節

(1)　この内容は、再臨。

(2)　「御怒りの日」＝大患難期。その末期に、ハルマゲドンの戦い（3節では「あなたの戦いの日」）と再臨。

4.　詩篇110：1～7の教える内容

(1)　メシアは、メルキゼデクの例にならい、祭司と王を兼務する。

(2)　メシアは、神でもあり人でもある方である。祭司となるためには、人である必要があり、神の右に着座するには神と同格の存在である必要がある。

(3)　初臨において、メシアは拒絶される。拒絶された後、メシアは天に昇り、神の右の座に着く。

(4)　メシアは、イスラエルがメシアを受け入れた時に帰ってくる。

(5) メシアの王国では、メシアがイスラエルと全世界を統治する。

詩80：17　あなたの右の手の人

1. 詩篇第80篇は、全体としては、再臨の直前に起きるイスラエルの民族的救いの預言
2. その内容は、イスラエル民族がメシアに戻って来てくださいと願う祈り
3. この祈りの中に、1か所だけ初臨に関係する箇所がある。17節の「あなたの右の手の人」である。
   (1) イスラエルは、神に救いを求めて祈る。
   (2) 彼らが、自分たちを救ってください、来てくださいと願い求めている先のお方は、「神の右の座に座し給うお方」である。
   (3) これは、詩篇110篇第1節の預言とつながる。
      ① メシアは、イスラエルの民から拒否された後、神の右の座に上げられる。
      ② 「神の右の座」とは、神と同等のお方であることを意味する。従って、メシアは、神であり同時に人であるお方「God－Man」である。
      ③ メシアがそこにとどまるのは、イスラエルが悔い改め、メシアに帰って来てくださいと頼むまでである（詩篇80篇は、その祈り）。
4. 詩80：17の教える内容
   (1) メシアは、父なる神の右の座に座すであろう。
   (2) メシアは、神の右に座すお方、すなわち、神と同等のお方である。従って、メシアは神であり、人でもある。

箴言30：4　神の御子の名

1. 箴言30章の作者は、アグル
   (1) 1節　マサ＝マサ族というアラブ系の民族。
   (2) マサは、イシュマエルの子で、12人の中の7番目（創25：14、Ⅰ歴1：30）。12人はそれぞれの氏族の長となった。
   (3) ヤケの子アグル・・・人物の名。箴言31：1には、「マサの王レムエル」。アグルもレムエルも、おそらくマサの子孫であると考えられる。
2. 1～3節

新改訳	新共同訳
マサの人ヤケの子アグルのことば。イティエルに告げ、イティエルとウカルに告げたことば。	ヤケの子アグルの言葉。託宣。この人は言う。神よ、わたしは疲れた。神よ、わたしは、疲れ果てた。
確かに、私は人間の中で最も愚かで、私には人間の悟りがない。	まことに、わたしはだれよりも粗野で人間としての分別もない。
私はまだ知恵も学ばず、聖なる方の知識も知らない。	知恵を教えられたこともなく、聖なる方を知ることもできない。

3.　4節の中の6つの質問

	新改訳	新共同訳
1	だれが天に上り、また降りて来ただろうか。	天に昇り、降った者は誰か。
2	だれが風をたなごころに集めただろうか。	その手のうちに風を集め、
3	だれが水を衣のうちに包んだだろうか。	その衣に水を包むものは誰か。
4	だれが地のすべての限界を堅く定めただろうか。	地の果てを定めたものは誰か。
5	その名は、何か、	その名は、何というのか。
6	その子の名は何か。 あなたは確かに知っている。	その子の名は何というのか。 あなたは知っているのか。

4.　4節の中の6つの答え

(1)　1から4の答えは、簡単。このようなことができるのは、神しかいない。よって、「神」である。答えがわかりきっている質問をすることを、修辞疑問という。

(2)　5の答えも、簡単。神の名は、箴言が書かれるはるか昔から啓示されている。神の御名は「YHVH」、これを一般的には「ヤハウェ」と発音する。新改訳聖書では、太文字で「**主**」と表記されている。

(3)　修辞疑問をするのは、最後の6番目の質問を際立たせるためである。5つはわかるが、この最後の疑問だけはわからない。

①　詩篇第2篇では、神の子に対する言及が2回（7節、12節）。

②　神に子がいることは、旧約聖書でもすでに啓示されている。

③　しかし、その名前まではまだ啓示されていない。

④　よれゆえ、「あなたは知っているのか？」ということばで終わる。

(4)　神の子の名が、「イエス」だと明らかになるのは、メシアの初臨のとき（マタイ1：18～25）

(5)　今、私たちは、その名はイエスであると知っている（使徒4：12）

報告

門司港レトロ集会へのサポート献金は10月からの繰越金が2,000円、11月の献金は、熊本集会において16,100円、福岡集会において105,000円の計121,100円でした。この中から門司港レトロ集会に11月20日3万円の支援をして、11月末日現在の繰越残高は、93,100円です。

福岡集会での献金は8月10,500円、9月6,000円、10月9,000円、11月105,000円、累計130,500円でした。皆様のお祈りと献金に心から感謝申し上げます。

先日、五人委員会（中川先生と4人の長老：北海道の木林兄、関東の榊兄・永山兄、沖縄の下地牧師）にて、門司港レトロ集会は30番目のフォーラムとして承認されました。開所式は、来年3月4日（土）午後1時半の予定です。